平成19年度国立情報学研究所実務研修報告書

平成19年9月28日
山口大学情報環境部学術情報課情報支援係
深 川 昌 彦

目次

1. 研修の目的
2. 研修先及び研修期間
3. 研修内容
4. 成果物
5. 受け入れ態勢、研修環境
6. 研修の感想
7. 参考資料
8. 添付資料

1. 研修の目的

従来の図書館資料から電子化資料（購入，契約資料・機関リポジトリ登録資料などを含む）のこれからの図書館の資料をできるだけ最短で利用者に提供できるよう，CAT/ILLとの連携、リンクリゾルバの在り方や機関リポジトリのあり方など、ナショナルセンターとローカルの図書館基幹システムとの連携の在り方など，学術コミュニケーションの変容に対応するための方策を検討し，次世代の図書館サービスを支えるローカルシステムの設計に必要な知識を修得することを目的とする。

2. 研修先及び研修期間

研修先：国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 図書館連携チーム
研修期間： 平成19年 7月 1日(日) ～ 9月30日(日)

3. 研修内容

3.1 研修スケジュール

(1)研修スケジュール概要

平成19年7月：

- 図書館システムに関する文献調査
- 電子情報資源管理システムに関する文献調査

平成19年8月：

- 図書館システムのスリム化についての検討
- 電子情報資源管理システムに関する調査
- 図書館のオンラインサービス機能の調査検討

平成19年9月：

- 図書館システム見学
- 実務研修報告書の作成
- 実務研修の報告発表資料作成

(2)研修日程

7/2	研修開始
7/2	第1回図書館連携作業部会
〃	図書館連携作業部会 第1回次世代目録WG
7/3	平成18年度CSI委託事業報告交流会（コンテンツ系）
7/9	機関リポジトリ ミーティング
7/17	平成18年度CSI委託事業報告交流会（ネットワーク・e-Science系）：session6 聴講
7/19	電子化事業関連の打ち合わせ
7/23	ERMS実証実験会議の打ち合わせ
7/24	日立工場見学
7/25	機関リポジトリ担当者打ち合わせ
7/26	第1回ERMS（電子情報資源管理システム）実証実験会議,操作説明会
7/31	機関リポジトリ担当者打ち合わせ
8/3	目録所在情報システム ブレーンストーミング
8/8	機関リポジトリ ブレーンストーミング

〃　　目録所在情報システム検討WG　システムまわりの打ち合わせ
8/17　　ERMS（電子情報資源管理システム）についての打ち合わせ
8/22-24 学術ポータル担当者研修聴講
8/27　　学術基盤推進部専門研修「プレゼンテーション技法」
9/3　　東京工業大学（図書館システム：NTTデータ九州　NALIS）
〃　　お茶の水女子大学（図書館システム：NTTデータ九州　NALIS）
9/5　　図書館連携作業部会　第2回次世代目録WG
9/7　　東京学芸大学（図書館システム：リコー　LIMEDIO）
9/13　　九州大学（図書館システム：日本電気　LICSU-Web）
9/14　　図書館とNIIの集い（NII Library Forum 2007）
9/18　　図書館連携作業部会　第3回次世代目録WG
9/20　　学術基盤推進部専門研修「実務研修成果報告，海外出張報告」
9/26　　目録所在情報システム検討WG
9/28　　研修修了

3.2 研修内容

(1) 電子情報資源管理システム（ERMS）実証実験

ERMS実証実験とは，紙から電子への環境が急速に進み，電子情報資源の管理は，資源が増加すればするほど困難になってきている。この実証実験は，ERMS導入が一般的なワークフローとして受け入れられるか，本当に有効なのかを大学担当者に使用してもらい，検証することを目的として開始された。
8月中旬，異なる2つの実験環境で行われることとなったが，使用される製品そのものの評価ではなく，次の世代の新しい図書館システム構築の可能性を検討するための準備としてあり，参加大学それぞれにテーマを決定，中間報告ならびに最終報告を行うことになっている。
第1回会議にて，会議事務を行うとともに，操作説明会に出席した。先行事例調査や基本文献の収集を行い，翻訳が必要なものは訳して，公開していくことが確認されたため，文献調査を行い，規定や事例，製品評価などを大きな括りでリスト化した。（添付資料1）また，NII側の課題検討のため，実験環境の初期データを用意する必要があり，作成のため，NII図書室の電子ジャーナル等の契約リストをお借りし，初期環境の元データを作った。

(2) 図書館連携作業部会，次世代目録WG/機関リポジトリWG

次世代目録WGは，学術コンテンツ運営・連携本部の図書館連携作業部会内に組織されたWGであり，目録システムについて,システム面だけではなくサービスの運用面についても検討することを目的として設置されている。ここでは，次世代目録所在情報サービスのあり方などについて，WGメンバーが意見を出し

合いながら，いろいろな見方で意見交換がなされている。ERMSについても，主に目録品質的な観点での検討も行われており，今後の方向性については検討結果を上位の部会に諮られる。
このWGは，研修開始日がちょうど図書館連携作業部会第1回次世代目録WGだったため，運よく初回から参加できた。以降，第3回まで出席させていただき，会議事務を行った。ここで議論された内容は，10月中旬に予定されている第2回図書館連携作業部会に中間報告として提出される。
機関リポジトリWGへは，日程的に参加できなかったが，次世代目録WGとともに情報共有のために設置されたWikiの初期設定を行い，ユーザ登録および過去資料等の登録作業までで，担当を引き継いだ。

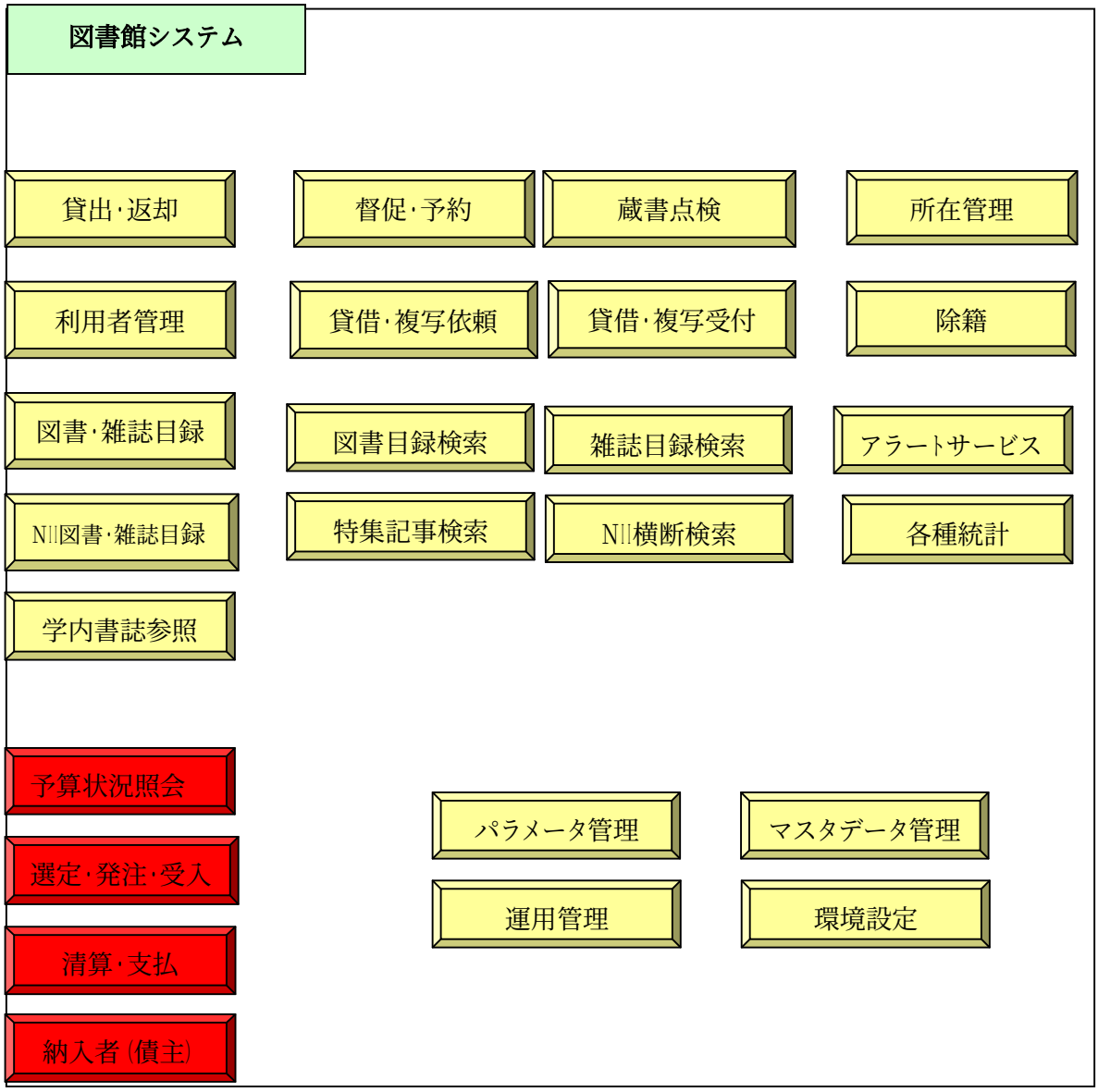
(3) 研修テーマに関する調査等

インターネットの普及やパソコン普及率も7割を超えるほど高くなってきており，図書館ではなくオンライン資料のみ使う利用者が多くなってきている。大学図書館での情報提供資源は，90年代末ごろから電子ジャーナルに大きく依存する形態になってきており，電子ブックがこれから身近なものとなれば，益々オンライン利用が増してくるであろう。この状況から，大学図書館での今後のサービスと，図書館システムに必要とされる機能を考えながら現状の機能を確認した。

○ 現状の図書館システムの主要機能

○　図書館システムのスリム化を検討

図書館システムとして機能を増やすのか，減らすのか。増やすのであれば，システムのスリム化をまず行わなくてはならないと考えた。スリム化は，他システムと連携して，図書館システム側をシンプルにするのが目的であるが，それに伴ってトータルコストが小さくなる必要である。少し細かく機能を上げてみて，赤の部分の機能を削除しようと考えていたが，不用意に機能を削ってしまうと，ルーティン化された業務が回らなくなることが想定されることと，外した機能を引き取る側のカスタマイズ費用を考えると，ここでは判断できないため，検討を断念した。個々の組織の事情により，現場のワークフローと関連部署のワークフローを正確に解析しなくてはならない。



○　図書館システム見学

◎　東京工業大学

現在のシステムは，2004 年に導入しており，新システムが 2008 年 1 月に立ち上がる予定である。新システムでも，外国雑誌センター館としての機能が絶対的に必要とされており，そのためのルーティンが機能するよう，雑誌の契約･受入と ILL については，省力化のための大幅なカスタマイズはやむを得ないとのことであった。図書館システム側では，冊子と電子ジャーナルの双方の契約情報を管理しており，次期システムでは，外部ツールと連携して業務を行う予定である。現状の OPAC とまったく同様のサービスとはならず，中間窓を表示させる形態のサービスになりそうだが，全資源の検索については，差し支えない検索環境になる予定であるとのことであった。

◎　お茶の水女子大学

旧図書館システムは2007年2月末までであったため，各担当の業務効率を6割程度に圧縮するという目標を掲げ，リプレイスに臨んだとのこと。作業の手順を見直すことも含めて検討し，ツールとしての要求をまとめられたそうである。ほぼ標準のままのパッケージを導入している。新設のラーニング･コモンズに設置されていたのは，シンクライアント：Macであり，利用も多く，TAも配置されるなど，利用環境にも力を注いでいた。

◎　東京学芸大学

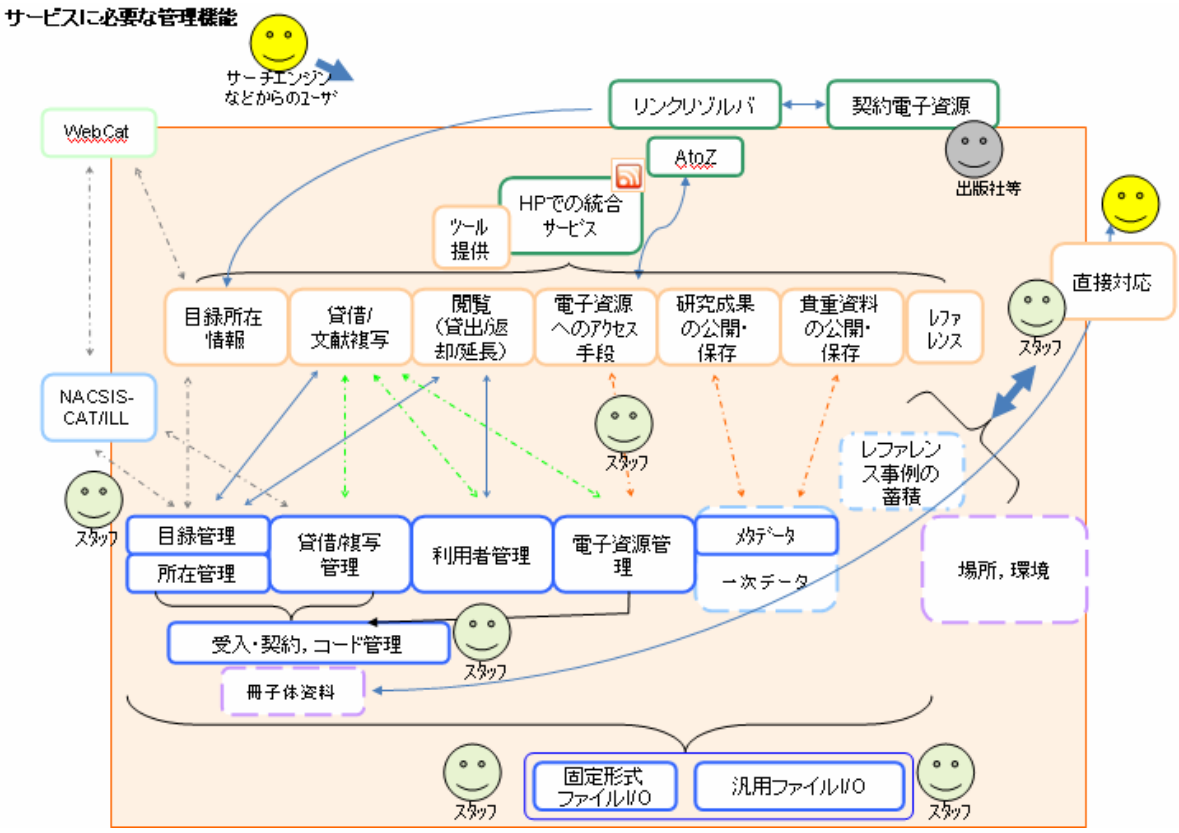
現在のシステムは，2007年3月にリプレイスされており，ほぼ標準のままのパッケージで導入，している。ツール群のみ独自に開発しており，効率化を図るとともに，LDAPによる統合認証を行っているなど，利便性にも気を配っている。電子ジャーナルのOPACでの検索はせず，外部のツールAtoZ にてナビゲートしている。MyLibraryにLoginさえすれば，使用できるサービスがメニューで一覧できる。旧電子図書館システムのコンテンツは，機関リポジトリ（E*TOPIA）へ移行し，リニューアルした。

◎　九州大学

電子資源の情報をユーザが利用できるようにするまでの流れについて，契約ツールのナレッジベースから，電子ジャーナルの簡易タイトルリストからローカルの書誌データベースに取り込んで，OPACからの検索を可能にしている（試行中）。データベースにフラグがあり，ejのみ，冊子体のみ，両方ありの区分により，OPACの検索結果からリンキングサービスへ導かれる。電子情報資源管理は，現図書館システムでは行っていないが，いずれERMSで行うことを予定している。DDSの環境は，図書館システムのパッケージと他社システムの組み合わせにより実現している。認証システムとの統合は，メリット／デメリットのバランスを考える。システムに大きな変更を伴う場合，リプレイスのタイミングと考えている。

○　図書館のオンラインサービス機能の検討

利用者の探索行動の始まりは，約7割がインターネット上の検索サイトや特定の決まったサイトから始まり，いきなり所属機関の図書館のホームページや蔵書検索にあたることは少ないようである。しかしながら，個々にとって重要なテーマであれば，図書館の資源の確実さを求める傾向もあるようで，図書館では，少なくとも来館者（オンライン含む）の期待を裏切らない環境の構築に努力する必要がある。また，検索サイトからでも誘導できるような配慮も必要だと考える。従来の情報源は，物体としての資料であり，それは主に図書館や研究室に存在していたため，利用者が移動するか資料が移動するほかなかった。現在は，資料を契約していて，うまくたどり着きさえすれば，効率的に情報収集可能な環境になったのである。だた，あまりに膨大になった情報資源の中からうまくたどりつくのは，困難になってきており，交通整理していく必要が出てきているのだろうと考えている。



いろいろなツールがインターネット上にはたくさんあるが，標準的なツールでいい利用者もいる。カスタマイズしたい利用者もいる。後者には，公開されたシステムであるとともに，楽しみながら環境を作れて，そんな情報がユーザ間で共有されることで，開拓されていくのではないだろうか。図書館システムの個々のサービス機能がツールとして提供され，組み合わせるだけで，自由に配置できて，どこにいても同じ環境で

使えることが一番の幸せだと思うが，そのためのコストを考えると頭が痛い。そのためには，図書館システムだけでなく，統合的な認証基盤の確立や安定したネットワーク，関連する他のシステムとの連携は必須であると考える。

4. 成果物

・大学図書館におけるオンラインサービスと支援機能（案）

5. 受け入れ態勢，研修環境

(1)受け入れ態勢

- 事前に実務研修期間中の宿泊先，研修初日の集合時間や場所等の情報をいただいており，研修当初から特に困ることはなかった。
- 実務研修期間中の宿泊先はマンスリーマンションであり，生活面での不便を感じることはなかった。また，マンションには，インターネットへの接続環境もあり，快適に過ごせた。
- 宿泊先のマンスリーマンションは，NIIから電車一本で通える近い場所を用意していただいたため，通勤時間や経路を気にする必要がなく，都内に不慣れでも，困ることはなかった。

(2)研修環境

- 専用の机とデスクトップPC，NIIのメールアドレスを用意してもらっており，多くのMLへの登録もしていただいたため，今何が起きているかがとてもスムーズに伝わる環境であった。
- 事務手続きについては，定型的なことはもちろんのこと，非定型的な手続きにも適時対応いただき，困ることはなかった。

6. 研修の感想

研修当初は，3ヶ月という期間に相当に長いという意識があったが，実感としてとても短かったと感じた。研修前は自身のテーマにあまり難しさを感じていなかったが，実際に取り組んでみて，とんでもないテーマにしてしまったということをヒシヒシと感じた。受入先でも多忙な状況で時間を割いていただき，役立つ実務について一緒に考えていただいた。本研修にこれから参加される方には，是非，広範囲なテーマは選定せずに，極端と思えるほどにポイントを絞ることをお勧めしたい。結果的に，私自身としては，このテーマでよかったと考えている。これまでシステムと同じ位置で自館のシステムを見ているだけだったが，この3ヶ月は，ずっとシステムを外側から見ながら考えることができたからである。数年前であれば，当然のように判っていた筈の根本的部分での再認識，結論にたどり着くまでのプロセスなど，記録には残せなかった部分もあるが，感覚的に得られたものは大きく，大変有用な時間を過ごせたと考えている。また，研修中にNIIで行われた行事等に参加できたのも大変有意義だった。少人数での役割分担，トラブルに対する予測・対処

方法の検討･調整，それら個々の事例の記録とフィードバックが正確に，素早く，また，当然のこととして行われており，なにより，状況把握と結論を導き出すまでの速さには，とてつもなく驚いていたものである。今回の経験を今後に生かせるよう，引き続き検討される電子情報資源管理方法や次世代目録システムなどの動向，活用できそうな事例には，これからも十分注意を払い，まずは自館のサービスを支えるスタッフとともに検討し，ひとつひとつ取り組んでいきたいと考えている。

最後に，ご多忙中に急な訪問に対応していただきました大学図書館の皆様，実務研修を行うにあたり受入態勢を整えていただきました基盤企画課の皆様，実務研修生として私を受入れていただきました学術コンテンツ課の皆様，その他，あちこちでご迷惑をおかけしました国立情報学研究所の多くの皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

7. 参考資料

1) 齋藤泰則. 情報探索者が捉えたインターネット環境における情報源としての図書館および図書館員の特性. 現代の図書館 Vol.45 No.1(2007) p.32-40.

2) 齋藤 泰則. デジタル環境の進展による図書館と利用者との関係の変容--レファレンスサービスの仲介的機能の展開を中心に. 情報の科学と技術 Vol.57, No.9 (2007) p.429-433

3) 電子情報環境下における大学図書館機能の再検討 研究成果報告書
http://cogsci.l.chiba-u.ac.jp/REFORM/Final_Report/reform_final_report.html

4) 国立大学図書館協会学術委員会図書館システム検討ワーキンググループ. 今後の図書館システムの方向性について. 2007, 61p.
http://wwwsoc.nii.ac.jp/anul/j/projects/si/systemwg_report.pdf, (accessed. 2007-09-09)

5) 千村文彦. 情報のリンク付け. MediaNet No.10 p.5-7.
http://www.lib.keio.ac.jp/publication/medianet/article/pdf/0100050.pdf

6) ユニバーサル･リンク･リゾルバとOvid LinkSolver. KINOLINE vol.25 no.1 p.1-2.
http://www.kinokuniya.co.jp/03f/kinoline/0401_04.pdf

7) 片岡真. リンクリゾルバが変える学術ポータル : 九州大学附属図書館「きゅうとLinQ」の取り組み. 情報の科学と技術 Vol.56, No.1(20060101) p.32-37

8) 図書館への提言 : 図書館システムの開発に携わって(<特集>図書館への提言). 情報の科学と技術 Vol.57, No.4(20070401) p.188-191.
http://ci.nii.ac.jp/naid/110006242736/

9) 総論:システムライブラリアンをめぐる状況と課題. 情報の科学と技術 Vol.56, No.4(20060401) p.150-154.
http://ci.nii.ac.jp/naid/110004705439/

10) 黒澤 公人. 図書全文検索と図書館システム(<特集>Infoproならこれを読んでおこう). 情報の科学と技術 Vol.56, No.8(20060801) p.374-375.
http://ci.nii.ac.jp/naid/110004776155/
11) 黒澤 公人. Web2.0が導く新たな地平 新しい図書館システムを求めて(<特集>図書館とWeb2.0). 情報の科学と技術 Vol.56, No.11(20061101) p.514-519.
http://ci.nii.ac.jp/naid/110004857464/
12) 村上 泰子, 北 克一. オープンソースと図書館システム--導入への評価モデル (〔日本図書館研究会〕第47回研究大会グループ研究発表). 図書館界 Vol.58, No.2 (2006/7) (通号 329) p.124-134
13)原田 隆史, 江藤 正己. 図書館とオープンソース・ソフトウェア (特集:Open). 現代の図書館 Vol.44, No.2 (2006/6) (通号 178) p.68-75
14) 若生 政江, 井村 邦博. 事例報告 図書館システムにおける電子ジャーナルの一元管理--E-Cats Libraryを利用した城西大学の事例. 薬学図書館 Vol.51, No.2 (2006) (通号 192) p.153-158
15) 小澤 弘太, 加藤 浩,長崎 理絵. 国立図書館のビジネス支援機能--国立国会図書館における今後のサービス展開に向けて. 現代の図書館 Vol.45, No.2 (2007/6) (通号 182) p.106-118
16) 林 賢紀. RSS(RDF Site Summary)を活用した新たな図書館サービスの展開―OPAC2.0へ向けてー. 情報管理 Vol.49 No.1 April 2006 p.11-23
17) 林 賢紀. 松山 龍彦, 新元 公寛. QuestionPoint : 導入事例と今後の予定. 情報の科学と技術 Vol.56, No.3(20060301) p.96-102
http://ci.nii.ac.jp/naid/110004668713/
18) 渡邊 隆弘. 典拠コントロールの現在 : FRARとLCSHの動向. 情報の科学と技術 Vol.56, No.3 p.108-113.
http://ci.nii.ac.jp/naid/110004668715/
19) 小田 光宏. 総論 : デジタルレファレンスサービスの現在. 情報の科学と技術56(3), p84-89.
http://ci.nii.ac.jp/naid/110004668711/
20) 谷口 祥一. 三層構造モデル再論 : IFLA『書誌的記録の機能要件(案)』との比較を通して. 図書館学会年報 Vol.43, No.1(19970330) p.1-18
http://ci.nii.ac.jp/naid/110001818892/
21) 田邊稔. 次世代図書館サービスにおける認証システム. MediaNet No.13 (2006.10) .
http://www.lib.keio.ac.jp/publication/medianet/article/pdf/01300220.pdf
22) 江草 由佳,高久 雅生. SRU/SRWを用いた教育図書館資料の書誌検索システムの構築(<特集>第15回(2007年度)年次大会(研究報告会&総会)). 情報知識学会誌 17(2). p.69-74
23) 室井みや, 石井恒生. 大学生におけるインターネット, 活字, テレビを利用した情報収集方略についての検討. 日本教育工学会論文誌 29(2005). p.213-216.

8. 添付資料

(1) 大学図書館におけるオンラインサービスと支援機能（案）

(2) 電子情報資源管理システム関連文献リスト（案）

(3) 研修報告用PPT

大学図書館におけるオンラインサービスと支援機能（案）

目 次

1. 概要

2. 稼動環境

3. 機能要件

3.1 情報サービス機能

3.1.1 所在検索サービス

3.1.2 閲覧サービス

3.1.3 貸借･複写サービス

3.1.4 レファレンスサービス

3.1.5 研究成果,貴重資料検索サービス

3.1.6 利用者環境支援サービス（統合検索, オンライン窓口）

3.2 管理機能

3.2.1 目録所蔵情報管理

3.2.2 受入契約情報管理

3.2.3 閲覧管理

3.2.4 貸借複写情報管理

3.2.5 利用者情報管理

3.2.6 電子情報資源管理

3.2.7 共通コード管理

3.3 補助機能

3.3.1 蓄積･保存機能

3.3.2 運用管理

3.3.3 機器管理

4. 課題

1　概要

近年の情報探索者の探索行動の多くは，インターネット上のサーチエンジンを介して，情報源にたどり着く傾向にあり，今後益々この傾向が強まると考えられる。いくつかの大学図書館（以下，「図書館」）では，従来のサービスを維持しながら，新しい試みに挑戦し，今後のサービス形態を模索しているところである。図書館システムは，図書館職員の図書館業務を支援するためのシステム，蔵書検索を含む資料利用支援のためのシステムとして，適切な資料の収集と管理，効率的･効果的な資料提供の機能ために今日まで機能し，拡張されてきた。WWW が世に出てから，急速にインターネット環境が普及し，学術情報流通基盤も急速に，そして大きく変化して来ている。利用者図書館サービスならない状況となっている。 紙から電子への媒体の変化とともに，図書館のシステムにとっても大きな変革が必要な時期にきていることは，現在の電子ジャーナルの占める割合や，今後の電子ブックの広がりを考えると明らかであり，新たなモデルの確立が必要な時期に来ている。

本文書は，今後の大学図書館に必要なオンラインサービス機能から，それを支援する機能要件を提案するものである。

2　稼動環境

オンラインサービス環境は，動的に生成されるものを含め，一般的に利用される web ブラウザで正常に機能することが最低限必要である。

3　機能要件

図書館のシステムのサービス機能に関しては，利用者へ直接的に提供できる機能と，職員等の担当者支援ツールとして機能するものに大別できると考えているが，特に近年は，サービス部分において，前者に焦点が当てられることが多くなっている。どちらもシステムの利用対象ではあるが，本案については，主にオンライン上での利用者サービスを中心に，図書館に必要なシステムという観点から，サービスを支える機能要件について記述している。なお，個々の機能について，他のシステムまたはサービスにて代替できる場合は，連携することでの図書館システムとしての簡素化も考えられるため，ワークフローの変化を考慮しつつ，連携する必要がある。

3.1　情報サービス機能

情報サービス機能に関しては，所蔵資源だけでなく，利用可能なさまざまなリソースの検索ツールとも連携し，情報資源の種類を意識することなく，また，情報資源を限定したい利用者にも対応できる環境とし，最小限の操作で必要とする資源へ導くための環境を提供することが求められている。

3.1.1 所在検索サービス

(1) 所蔵資料の書誌情報ならびに電子ジャーナル等の書誌情報から検索を行い，資料の所在が確認できる。

(2) オンライン資源へ導くためのリンキングサービスと連携できる。

(3) 検索環境の言語設定に応じたメニュー言語の切り替えができる。
(4) 検索語から適当なキーワードを自動的に切り出した検索ができる。
(5) 横断的に検索できる他のリソースを選択できる。
(6) 検索対象の媒体を絞り込める。
(7) 複数の検索語を入力した場合，論理演算ができる。
(8) ひとつの検索窓の簡易検索とともに，各項目を指定した詳細検索もできる。
(9) 検索結果を指定したメールアドレス宛に送信できる。
(10) 検索結果に検索対象が表示できる。
(11) 貸出中の資料については返却期限がわかるとともに，予約機能へ導くことができる。
(12) 新着情報を RSS 配信できる。
(13) 利用者自身の設定により，指定アドレス宛に更新情報のメール通知ができる。

これらのサービスを提供するために必要な機能として，次の機能が必要となる。
・受入契約機能
・目録所在管理機能
・電子情報資源管理機能
・利用者管理機能（利用者認証機能）

3.1.2 閲覧サービス
(1) 冊子体資料に関して，貸出・返却・延長・予約ができる。
(2) 自動貸出返却装置と連携できる。
(3) 予約されている資料は延長処理ができない。
(4) 延長，予約，予約取消の状況把握と処理がオンライン上でできる。
(5) 貸出中資料の返却期限前通知が，日数設定を含めて利用者自身によりできる。

これらのサービスを提供するために必要な機能として，次の機能が必要となる。
・利用者管理機能
・目録所蔵管理機能
・閲覧管理機能
※ 資料の貸出については，貸出回数，貸出期間が運用上設定されていることを前提としている。

3.1.3 資料購入依頼，文献複写，現物貸借サービス
(1) 資料購入依頼ができる。
(2) 文献複写依頼ができる。
(3) 現物貸借依頼ができる。
(4) 受入・契約資料，研究成果や貴重書からの予備検索ができる。

(5) 処理段階に応じて，指定アドレス宛に状況を通知するメールが送付できる。

これらのサービスを提供するために必要な機能として，次の機能が必要となる。
・受入契約機能
・複写貸借依頼機能
・利用者管理機能
・目録所在管理機能

3.1.4 レファレンスサービス
(1) レファレンス事例を蓄積したデータベースの検索ができる。
(2) オンラインで依頼ができる。
(3) 蓄積された事例にコメントを受け付けることができる。
(4) 内容の公開・非公開を依頼者自身が設定できる。
(5) 新着情報の RSS 配信ができる。
(6) 利用者自身の設定により，指定アドレス宛に更新情報のメール通知ができる。

これらのサービスを提供するために必要な機能として，次の機能が必要となる。
・レファレンス事例 DB
・利用者管理機能
・蓄積・保存機能

3.1.5 研究成果,貴重資料検索サービス
(1) 研究成果や貴重資料を検索することができる。
(2) 研究成果の登録ができる。
(3) 内容の公開・非公開を登録者自身が設定できる。
(4) 新着情報の RSS 配信ができる。
(5) 利用者自身の設定により，指定アドレス宛に更新情報のメール通知ができる。

これらのサービスを提供するために必要な機能として，次の機能が必要となる。
・蓄積保存機能（電子化した資料を蓄積する機能，資料を特定するための整理機能）
・利用者管理機能

3.1.6 利用者環境支援サービス
サービス機能の個々は，機能ごとに部品化し，利用者が検索ツールの開発ができる。
(1) 提供する情報資源を一括して統合的に検索ができる。
(2) 個々の検索ツールをツールバーとしてブラウザに組み込み利用できる。

(3) 利用者毎のポータルページを提供して個々にカスタマイズができる。
(4) 文献リスト管理ツールの利用ができる。
(5) オンライン窓口として，各サービス全体へ導くことのできる標準的なポータルページを利用できる。

これらのサービスを提供するために必要な機能として，次の機能が必要となる。
・利用者管理機能
・外部システムへの公開・連携機能

3.2 管理機能

本項目における管理機能は，3.1 において必要となる機能について記述している。また，大学図書館が国立情報学研究所(以下 NII)の NACSIS-CAT/ILL の参加館であることとして，NACSIS-CAT 及び NACSIS-ILL との通信が安定的にできることが必要である。このときのプロトコルは，NII が公開している CATP(Cataloging information Access & Transfer Protocol)最新版に沿うとともに，CATP の変更があった場合は，速やかに対策を講じるものとする。

3.2.1 目録・所在情報管理

3.2.1.1 全般

(1) NACSIS-CAT を利用した目録作成ができる。
(2) NACSIS-CAT において提供されるレコードがすべて登録できる。
(3) NACSIS-CAT に所蔵登録ができる。
(4) NACSIS-CAT からローカルデータベースへの書誌および所蔵のダウンロードができる。
(5) ローカル書誌レコードの項目は、NACSIS-CAT のフォーマットに準拠する。
(6) ローカル書誌レコードの言語区分に基づいて、ローカル書誌・所蔵レコードを和洋管理ができる。

3.2.1.2 図書

(1) ローカル書誌レコードは，NACSIS-CAT に準拠した書誌階層構造を表現できる。
(2) ローカル所蔵レコードは、簡略書誌情報、所在情報を管理できる。
(3) 図書受入処理を経なくても目録作成できる。
(4) 所蔵1冊に対して，所在を特定し，管理できる。

3.2.1.3 雑誌

(1) ローカル目録データベースにレコードの登録・修正・削除ができる。
(2) 雑誌書誌レコード作成時に、和洋の区分ができる。
(3) NACSIS-CAT の雑誌書誌レコード及び著者名典拠レコード並びにローカル雑誌書誌レコードの新規作成・流用作成・修正ができる。

(4) NACSIS-CAT の雑誌書誌レコード及び著者名典拠レコードとのリンクが生成できる。

(5) NACSIS-CAT の雑誌書誌レコードのタイトル変遷情報を表示できる。

(6) 雑誌書誌の変遷がマップ形式で表示できる。

(7) NACSIS-CAT の書誌情報を条件により一括してローカル書誌情報に取り込みできる。

3.2.2 受入･契約情報管理

3.2.2.1 図書

(1) 発注, 受入が1冊ずつおよび, 一括でできる。

(2) 寄贈受入ができる。

(3) オンライン上からの購入依頼を受け付けることができる。

(4) ローカル所蔵及びNII所蔵への登録ができる。

(5) 備品, 消耗品の区分ができる。

(6) 採番による資料番号を付与できる。

3.2.2.2 雑誌

(1) 発注, 契約, 受入, 精算, 製本の各処理ができる。

(2) 欠号レコードの入力、修正、削除ができる。

(3) ローカル所蔵及びNII報告所蔵の更新ができる。

(4) 手動採番による資料番号を付与した上で、受入巻号として管理できる。

(5) 製本レコードの新規作成･流用作成･修正･削除ができる。

(6) 受入巻号レコードを利用して、製本レコードを作成できる。

(7) 製本後は, 備品として管理できる。

(8) 自動採番する整理番号にて管理できる。

3.2.3 閲覧管理

(1) 利用者毎に貸出, 返却, 延長ができる。

(2) 自動貸出返却装置と連携できる。

(3) 貸出･返却･予約の状態が資料情報表示と連携できる。

(4) 所在変更処理ができること。

(5) 利用者 ID や資料 ID を読み取る外部機器と連携できる。

(6) 貸出条件を設定できる。

(7) 督促処理ができる。

3.2.4 貸借･複写情報管理

(1) NACSIS-ILL を利用した依頼･受付業務ができる。

(2) NACSIS-ILL に参加していない図書館に対する、NACSIS-ILL を経由しない依頼･受付業務ができ

る。

(3)　オンライン依頼から，入力された情報を ILL レコードに取り込める。

(4)　私費，校費の区分ができる。

(4)　依頼･受付業務の進捗状況を依頼者本人が確認できる。

(5)　資料の到着を申込者の電子メールアドレスへ通知できる。

3.2.5　利用者情報管理

(1) 利用者情報を利用者 ID により管理ができる。

(2) 利用者情報の新規作成，修正，削除ができる。

(3) 利用者情報の一括登録，削除ができる。

(4) 学内の統合認証と連携し，利用者毎の認証ができる。

3.2.6　電子情報資源管理

(1) 契約資料へのリンク情報を管理できる。

(2) 書誌情報の管理ができる。

(3) 契約年度および条件を蓄積･管理ができる。

(4) 電子資源の契約情報（利用許諾契約を含む）が管理できる。

(5) 管理情報から利用できる電子資源情報を生成できる。

3.2.7　共通コード管理

(1) 所在情報を管理できる。

(2) 予算情報を管理できる。

(3) 所属情報を管理できる。

3.3　補助機能

3.3.1　蓄積･保存機能

(1) 研究成果の蓄積保存ができる。

(2) 電子化した貴重資料等の蓄積保存ができる。

(3) 蓄積したデータに対してのメタデータ管理ができる。

(4) 蓄積したデータの個々について，公開/非公開の設定ができる。

(5) OAI-PMH(Open Archive Initiative Protocol for Metadata Harvesting)を実装している。

3.3.2　運用管理

(1) 学内の統合認証と連携した認証ができる。

(2) 予定停止等の計画運転ができる。

(3) 定期的バックアップにより，バックアップ時の環境に戻すことができる。

(4) ネットワークを介した攻撃に対処できる。
(5) 利用状況を統計データとして利用できる。

3.3.3 機器管理

(1) システム異常の把握ができる。
(2) 電源供給障害時に正常な終了ができる。
(3) 機器障害時に適切な保守ができる。

4 課題

・オンラインサービスで必要となる機能に限って，しかも詳細機能には触れていない。
・サービスに必要だと思われる機能のみ管理機能としてリストアップしているため，管理機能については，業務を完全には網羅していない。
・電子情報資源管理システム (ERMS) がどの程度，通常のワークフローに組み込めるかなどは，現在実証実験が行われている。
・電子情報資源管理機能については， Excel や Access を駆使するか，ERMS を使用するか，特に限っていない。

電子情報資源管理システムに関する文献リスト(案)

2007.08.21 版

規定

- Report of the DLF ERM Initiative

ERMS について

- ERM: Staffing, Services, and Systems by Marilyn Geller. Library Technology Reports, Mar/Apr2006, Vol. 42 Issue 2
- Integrated Library System Reports
- 電子情報資源管理システム--DLF-ERMI の取り組みを中心として 尾城 孝一, 情報管理, Vol.47, No.8 (2004/11) pp.519～527, ISSN:00217298
- 電子情報資源管理システム(ERMS)(<特集>電子ジャーナルの現状) 伊藤 裕之, 情報の科学と技術, Vol.55, No.6(20050601) pp. 271-275, ISSN:09133801(*)
- 慶應義塾大学における電子ジャーナル管理の現状と展望 : EJ アクセシビリティを中心として(<特集>電子ジャーナルの現状) 田邊 稔 , 山田 雅子 情報の科学と技術, Vol.55, No.6(20050601) pp. 257-264, ISSN:09133801
- 電子ジャーナル管理 2005～2006 年の動き―電子資源管理の一元化をめざして― 山田 雅子, MediaNet, No.13(2006) p.26-30
- The innovative electronic resource management system development partnership Grover, D., Fons, T. , (2004) Serials Review, 30 (2), pp. 110-116.
- Electronic Journal Forum: Electronic resource management systems: Understanding the players and how to make the right choice for your library Collins, M., (2005) Serials Review, 31 (2), pp. 125-140.
- Electronic resource management systems: The need and the realization. Sadeh, T./ Ellingsen, M. (2005) New Library World, 106 (5-6), pp. 208-218.
- The innovative electronic resource management system development partnership Tull, L., (2005) Information Technology and Libraries, 24 (4), pp. 163-169.
- Ghosts in the machine: The promise of electronic resource management tools , Emery, J. ,(2007) Serials Librarian, 51 (3-4), pp. 201-208.
- ERMS Implementation: Navigating the Wilderness Medeiros, Norm (2007) OCLC Systems & Services

23(2):pp.113-115.(*http://eprints.rclis.org/archive/00010443/01/ELIS_OTDCF_v23no2.pdf)

- Serials-The Constant Midlife Crisis Johnson, Kay G. Serials Review 2006, Vol. 32 Issue 1, p35-39, 5p , ISSN: 0098-7913
- Accommodating consortia within electronic resource management systems. Medeiros, Norm , OCLC Systems & Services; 2006, Vol. 22 Issue 4, p238-240, 3p, 1 chart ISSN: 1065-075X (*http://eprints.rclis.org/archive/00008215/01/ELIS_OTDCF_v22no4.pdf)
- Electronic Resource Management Software: A Brief Overview. LouAnn Blocker Tennessee Libraries 2006, Vol. 56 Issue 3, p??, 4p ISSN: 0162-1564 (* http://www.tnla.org/associations/5700/files/TL563blocker.pdf)
- ERMS Implementation: Navigating the Wilderness. Medeiros, Norm (2007) OCLC Systems & Services 23(2):pp.113-115.(*http://eprints.rclis.org/archive/00010443/01/ELIS_OTDCF_v23no2.pdf)
- From the Editor. Tennessee Libraries ; 2006, Vol. 56 Issue 3, p1-1, 0162-1564
- Recent Developments in Electronic Resource Management in Libraries. Kasprowski, Rafal Bulletin of the American Society for Information Science & Technology ; Aug/Sep2006, Vol. 32 Issue 6, p27-29, 1931-6550
- The ERMI and Its Offspring. Library Technology Reports ; Mar/Apr2006, Vol. 42 Issue 2, p14-21, 0024-2586
- The Growth of Electronic Journals in Libraries: Access and Management Issues and Solutions. Mischo, William H. / Norman, Michael A. / Shelburne, Wendy Allen / Schiembach, Mary C. Science & Technology Libraries ; 2006, Vol. 26 Issue 3/4, p29-59, 0194-262X
- Serials?The Constant Midlife Crisis. Johnson, Kay G. Serials Review ; 2006, Vol. 32 Issue 1, p35-39, 0098-7913
- Helping You Buy: Electronic Resource Management Systems. Meyer, Stephen Computers in Libraries ; Nov/Dec2005, Vol. 25 Issue 10, p19-23, 1041-7915
- Electronic Resource Management Systems: Understanding the Players and How to Make the Right Choice for Your Library. Collins, Maria Serials Review ; 2005, Vol. 31 Issue 2, p125-140, 0098-7913
- ALCTS, LITA, PLA, RUSA SCHEDULE PRECONFERENCES AT ALA. Advanced Technology Libraries ; May2005, Vol. 34 Issue 5, p4-5, 0044-636X

- Electronic Resource Management: The Quest for Systems and Standards. Jewell, Timothy D. / Mitchell, Anne Serials Librarian ; 2005, Vol. 48 Issue 1/2, p137-163,0361-526X
- Patato, Potahto. Sprehe, J. Timothy AIIM E-DOC ; Nov/Dec2004, Vol. 18 Issue 6, p16-19, 1544-3647
- A Framework for EDMS/ERMS Integration. Sprehe, J. Timothy Information Management Journal ; Nov/Dec2004, Vol. 38 Issue 6, p54-62, 1535-2897
- Electronic Resource Management Systems From ILS Vendors. Duranceau, Ellen Finnie Against the Grain ; Sep2004, Vol. 16 Issue 4, p91-94, 1043-2094
- Clarity in the Mist. Raschke, Greg / Weiner, Suzanne , Library Journal; Summer2004 Net Connect, Vol. 129, p4-8, 4p, 1 chart, 1 diagram , ISSN: 0363-0277
- Electronic Resource Management Systems. Ellingsen, Mark Liber Quarterly: The Journal of European Research Libraries ; 2004, Vol. 14 Issue 3-4, p313-321,1435-5205
- Management of Electronic Serials, Outsourcing, and Bringing New Products to the Marketplace. McCracken, Peter Serials Librarian 2003, Vol. 44 Issue 1/2, p115, 0361-526X
- Beginning to See the Light: Developing a Discourse for Electronic Resource Management. Emery, Jill Serials Librarian 2005, Vol. 47 Issue 4, p137-147, 0361-526X
- E is for Entropy: Electronic Resource Management Systems. Mitchell, A.M. ,(2007) Serials Librarian, 51 (3-4), pp. 31-37.

事例

- The e-Files: Investigating e-Journal Tools and Trends: Workshop Introduction.Serials Librarian ; 2007, Vol. 51 Issue 3/4, p185-188 , 0361-526X
- REPORT OF THE ALCTS/LITA ELECTRONIC RESOURCE MANAGEMENT INTEREST GROUP MEETING. AMERICAN LIBRARY ASSOCIATION MIDWINTER MEETING, SAN ANTONIO, JANUARY 2006. Canepi, Kitti Technical Services Quarterly ; 2007, Vol. 24 Issue 3, p71-73 , 0731-7131
- Implementing an Electronic Resource Management System: Brigham Young University's Experience. Howland, Jared / Wright, Thomas Library Hi Tech News ; Aug2006, Vol. 23 Issue 7, p28-31, 0741-9058
- Trends in Cataloging Electronic Journals in Health Sciences Libraries: Will Title Lists or the Online Catalog Prevail? Cuddy, Colleen / Bahr, Ellen Journal of

Electronic Resources in Medical Libraries ; 2006, Vol. 3 Issue 3, p37-59, 1542-4065

- E-Matrix?Choosing to Grow Your Own Electronic Resource Management System. Meyer, Stephen / Collins, Maria Serials Review ; 2006, Vol. 32 Issue 2, p103-105, 0098-7913
- ERMS: To Buy or not to Buy? Hooper, Michael Tennessee Libraries; 2006, Vol. 56 Issue 2, p91-100, 10p (*http://www.tnla.org/associations/5700/files/hooper562.pdf)
- Biz of Acq ? Mainstreaming "E": Integrating Print and Electronic Journal Acquisition and Management. Clendenning, Lynda Fuller Against the Grain ; Apr2006, Vol. 18 Issue 2, p66-68, 1043-2094
- On the road again: a conversation with Jill Emery. Medeiros, Norm OCLC Systems & Services ; 2006, Vol. 22 Issue 1, p10-14, 1065-075X
- The management and development of e-resources at LSE. Rumsey, Sally Serials ; Nov2005, Vol. 18 Issue 3, p192-195, 0953-0460
- VERDE NOW IN GENERAL RELEASE. Advanced Technology Libraries ; Oct2005, Vol. 34 Issue 10, p2-4, 0044-636X
- STATE AND UNIVERSITY LIBRARY OF DENMARK CHOOSES MERIDIAN. Advanced Technology Libraries ; Oct2005, Vol. 34 Issue 10, p6-6, 0044-636X
- Electronic Resource Management: Transition from In-House to In-House/Vendor Approach. Alan, Robert Serials Librarian ; 2005, Vol. 47 Issue 4, p17-25, 0361-526X
- Customized Electronic Resources Management System for a Multi-Library University: Viewpoint from One Library. Brown, Janis F. / Nelson, Janet L. / Wineburgh-Freed, Maggie Serials Librarian ; 2005, Vol. 47 Issue 4, p89-102, 0361-526X
- Integrating and Streamlining Electronic Resources Workflows via Innovative's Electronic Resource Management. Tull, Laura / Crum, Janet / Davis, Trisha / Strader, C. Rockelle Serials Librarian ; 2005, Vol. 47 Issue 4, p103-124, 0361-526X
- FIVE COLLEGES, INC., SELECTS ALEPH 500, VERDE. Advanced Technology Libraries ; Feb2005, Vol. 34 Issue 2, p2-3, 0044-636X
- ERMS Race. Molyneux, Bob / Against the Grain ; Sep2004, Vol. 16 Issue 4, p94-95, 1043-2094
- Implementation of Subject-Accessible Electronic Resources Through WELMA: The Welch Electronic Resource Management System. Chung Sook Kim /

Cecchino, Nicola J. / Harden, Holly A. / Danko, Katharine A. / Koehler, Barbara M. / Canevari, Catharine S. Journal of Electronic Resources in Medical Libraries ; 2004, Vol. 1 Issue 2, p57-67, 1542-4065

- HERMES: The Hopkins Electronic Resource Management System. Cyzyk, Mark / Robertson, Nathan D.M. Information Technology & Libraries ; Mar2003, Vol. 22 Issue 1, p12, 0730-9295
- The Master Serial List at Montana State University?A Simple, Easy to Use Approach. Marshall, Susan P. / Kawasaki, Jodee L. Serials Librarian 2005, Vol. 47 Issue 4, p3-15, 0361-526X
- Electronic Resource Management: Transition from In-House to In-House/Vendor Approach. Alan, Robert Serials Librarian 2005, Vol. 47 Issue 4, p17-25, 0361-526X
- One-Stop: Serials Management with TDNet. Cooper, Peggy S. / Lester, Dan Serials Librarian 2005, Vol. 47 Issue 4, p27-34, 0361-526X
- Taming the E-Journal Jungle: The University of South Carolina's Experience with TDNet. McMullen, Karen / Wilmott, Derek Serials Librarian 2005, Vol. 47 Issue 4, p35-42, 0361-526X
- Implementing EBSCO's A-to-Z and LinkSource Products for Improved Electronic Journal Management. Lingle, Virginia A. Serials Librarian 2005, Vol. 47 Issue 4, p43-54, 0361-526X
- Two Interfaces, One Knowledge Base: The Development of a Combined E-Journal Web Page. Yeh, Felicia / McMullen, Karen Journal of Electronic Resources in Medical Libraries ; 2007, Vol. 4 Issue 1/2, p65-73, 1542-4065
- Evolutionary Approach to Managing E-Resources. Jasper, Richard P. / Sheble, Laura Serials Librarian 2005, Vol. 47 Issue 4, p55-70, 0361-526X
- Transition to E-Journals at Texas A&M University, 1995-2004. Ives, Gary Serials Librarian 2005, Vol. 47 Issue 4, p71-78, 0361-526X
- Customized Electronic Resources Management System for a Multi-Library University: Viewpoint from One Library. Brown, Janis F. / Nelson, Janet L. / Wineburgh-Freed, Maggie Serials Librarian 2005, Vol. 47 Issue 4, p89-102, 0361-526X
- Electronic Resources Management Systems: The Experience of Beta Testing and Implementation. Harvell, Tony A. Serials Librarian 2005, Vol. 47 Issue 4, p125-136, 0361-526X

- Ex Libris and MPS. Library Hi Tech News ; Nov/Dec2006, Vol. 23 Issue 10, p27-27 , 0741-9058
- ERMS Implementation: Are We Taming the Electronic Tiger? Landesman, Betty ALCTS Newsletter Online ; Aug2006, Vol. 17 Issue 4, p28-28, 1523-018X
- Endeavor Scores in Denmark. Rogers, Michael Library Journal ; 10/15/2005, Vol. 130 Issue 17, p22-22, 0363-0277
- LiS show up 36% at NEC. Pickering, Bobby Information World Review ; May2005 Issue 213, p7-7, 0950-9879

評価

- U.S. MEETING REPORTS AND ANNOUNCEMENTS.Serials Librarian ; 2007, Vol. 51 Issue 3/4, p18-20 , 0361-526X
- FINDABILITY ENABLED. Ownes, Dodie, Library Journal; 8/1/2006, Vol. 131 Issue 13, p30-32, 3p ,ISSN: 0363-0277
- Serials Solutions Releases ERMS. Rogers, Michael Library Journal ; 11/1/05, Vol. 130 Issue 18, p27-28, 0363-0277
- ENDEAVOR MERIDIAN ENTERS MAJOR FIELD TESTS. Advanced Technology Libraries ; Jun2005, Vol. 34 Issue 6, p2-3, 0044-636X
- Electronic Resources Management Systems: The Experience of Beta Testing and Implementation. Harvell, Tony A. ,Serials Librarian; 2005, Vol. 47 Issue 4, p125-136, 12p ,ISSN: 0361-526X
- Serials Solutions and Link Finder Plus at the University of Wales Swansea. Brown, Andrew / Smyth, Neil Program: Electronic Library & Information Systems; 2005, Vol. 39 Issue 2, p147-159, 13p
- A comparative review of three electronic journal management systems: Journal Web Cite, SerialsSolutions, and TDNet Emery, Jill Charleston Advisor October 2001, Vol. 3 Issue 2, p16-19, 1525-4011

製品情報

- 電子リソース契約情報管理ツール 衣笠 美穂, 情報管理 May2006, Vol. 49 Issue 2, p91-94, 0021-7298
- Realizing what's essential: a case study on integrating electronic journal management into a print-centric technical services department. Dollar, Daniel M. / Gallagher, John / Glover, Janis / Marone, Regina Kenny / Crooker,

Cynthia Journal of the Medical Library Association ; Apr2007, Vol. 95 Issue 2, p147-155 , 1536-5050

- SIRSIDYNIX, SERIALS SOLUTIONS PARTNER. Advanced Technology Libraries Jun2006, Vol. 35 Issue 6, p4-4, 0044-636X
- EBSCO SUCCESSFULLY TESTS FORMAT FOR TRANSFER OF A-TO-Z HOLDINGS. Advanced Technology Libraries ; Dec2005, Vol. 34 Issue 12, p8-9, 0044-636X
- SERIALS SOLUTIONS LAUNCHES ERMS.Advanced Technology Libraries ; Nov2005, Vol. 34 Issue 11, p2-3, 0044-636X
- Technically Speaking. Pace, Andrew K. American Libraries ; Aug2005, Vol. 36 Issue 7, p70-72, 0002-9769
- SERIALS SOLUTIONS ANNOUNCES GOOGLE SCHOLAR AS SOURCE FOR ARTICLE LINKER. Advanced Technology Libraries ; Jul2005, Vol. 34 Issue 7, p4-4, 0044-636X
- INNOVATIVE LAUNCHES SECOND MAJOR RELEASE OF ERM. Advanced Technology Libraries ; Jul2005, Vol. 34 Issue 7, p5-5, 0044-636X
- What's New in Library Products and Services. Nesting, Vicki Louisiana Libraries ; Summer2005, Vol. 68 Issue 1, p16-18, 1535-2102
- Electronic Resource Management Systems, Part II: Offerings from Serial Vendors and Serial Data Vendors. Duranceau, Ellen Finnie Against the Grain ; Jun2005, Vol. 17 Issue 3, p59-66, 1043-2094
- ENDEAVOR, EBRARY, OTHERS SHOW NEW PRODUCTS AT ALA. Advanced Technology Libraries ; Mar2005, Vol. 34 Issue 3, p4-8 ,0044-636X
- EX LIBRIS, ENDEAVOR, VTLS ANNOUNCE NEW ILS PRODUCTS. Advanced Technology Libraries ; Aug2004, Vol. 33 Issue 8, p1-12, 0044-636X
- Technically Speaking. Pace, Andrew K. American Libraries ; Aug2004, Vol. 35 Issue 7, p68-70, 0002-9769
- Harnish Comes Back to Endeavor. Rogers, Michael Library Journal ; 5/15/2004, Vol. 129 Issue 9, p26-26, 0363-0277
- Developing an Electronic Resource Management System: Verde from Ex Libris. Sadeh, Tamar Liber Quarterly: The Journal of European Research Libraries ; 2004, Vol. 14 Issue 3-4, p322-334, 1435-5205
- GOLD RUSH: ELECTRONIC JOURNAL MANAGEMENT SYSTEM AND OPENURL LINK RESOLVER. Online Libraries & Microcomputers Dec2002, Vol. 20 Issue 12, p4, 0737-7770

- Can SFX Replace Your Homegrown Periodicals Holding List? How the University of Wisconsin-La Crosse Made the Transition. Holman, Jenifer S. Serials Librarian 2005, Vol. 47 Issue 4, p79-88, 0361-526X
- Integrating and Streamlining Electronic Resources Workflows via Innovative's Electronic Resource Management. Tull, Laura / Crum, Janet / Davis, Trisha / Strader, C. Rockelle Serials Librarian 2005, Vol. 47 Issue 4, p103-124, 0361-526X

    - The Colorado Alliance Releases Gold Rush Linker version 4.0. D-Lib Magazine ; Sep2006, Vol. 12 Issue 9, p30-30 ,1082-9873
    - Endeavor. Library Hi Tech News ; Aug2006, Vol. 23 Issue 7, p36-37, 0741-9058
    - ENDEAVOR ANNOUNCES MERIDIAN 1.5. Advanced Technology Libraries ; Jul2006, Vol. 35 Issue 7, p3-3, 0044-636X
    - Endeavor unveils enhanced Meridian system. College & Research Libraries News ; Jul/Aug2006, Vol. 67 Issue 7, p406-407, 0099-0086
    - Vendors and Publishers. Technicalities ; May/Jun2006, Vol. 26 Issue 3, p23-23, 0272-0884
    - EX LIBRIS, ENDEAVOR UNVEIL NEW PRODUCTS. Advanced Technology Libraries ; Mar2006, Vol. 35 Issue 3, p1-12, 0044-636X
    - Ex Libris developing electronic resource management system. College & Research Libraries News ; May2004, Vol. 65 Issue 5, p248-249, 0099-0086
    - Gold Rush Linker: making better use of our electronic resources Brown-Sica, Meg / Hashert, Cynthia Colorado Libraries Spring 2003, Vol. 29 Issue 1, p25-28, 0147-9733

その他

- Computerizing libraries. (English) Maisonneuve, Marc Documentaliste: Sciences de l'Information ; avr2005, Vol. 42 Issue 2, p118-123, 0012-4508
- EBSCO ANNOUNCES LIVE INTEGRATION OF SUSHI. Advanced Technology Libraries ; Apr2006, Vol. 35 Issue 4, p8-9, 0044-636X
- SUSHI PROTOCOL SUCCESSFULLY TESTED. Advanced Technology Libraries ; Dec2005, Vol. 34 Issue 12, p2-3, 0044-636X

【実務研修成果報告】

研修テーマ：「電子情報環境下における大学図書館システム機能の検討」

山口大学　情報環境部　学術情報課
情報支援係　　深川昌彦

2007. 09. 20

目次

1. 自己紹介
2. 研修概要
3. 研修内容
4. 研修成果の概要
5. 研修の感想

1. 自己紹介

- 所属：
  山口大学情報環境部学術情報課情報支援係

- 担当：

・図書館システムの運用管理
・図書館に設置されている機器類の利用支援
・館内設置サーバ類の運用管理　等

2. 研修概要

2.1 研修概要

(1) 研修期間
平成19年 7月 1日(日) ～ 9月30日(日)

(2) 受入先
学術コンテンツ課　図書館連携チーム

(3) 研修内容
電子情報環境下における大学図書館システム機能の検討
・図書館連携作業部会次世代目録WGに関すること
・電子情報資源管理システム (ERMS) に関すること
・NACSIS-CAT/ILLのリプレイスに関すること
・機関リポジトリの今後に関すること

3. 研修内容

3.1　会議, 打ち合わせ

- 7/2　第1回図書館連携作業部会
- 〃　第1回図書館連携作業部会 次世代目録WG
- 7/9　機関リポジトリ ミーティング
- 7/19 電子化事業関連の打ち合わせ
- 7/23 ERMS実証実験会議の打ち合わせ
- 7/25 機関リポジトリ担当者打ち合わせ
- 7/26 第1回ERMS実証実験会議,操作説明会
- 7/31 機関リポジトリ担当者打ち合わせ
- 8/3　目録所在情報システムブレーンストーミング
- 8/8　機関リポジトリ ブレーンストーミング
- 〃　目録所在情報システム検討WG システムまわりの打ち合わせ
- 8/17　ERMS(電子情報資源管理システム) についての打ち合わせ
- 9/5　第2回図書館連携作業部会　次世代目録WG
- 9/18 第3回図書館連携作業部会　次世代目録WG

3. 研修内容

3.2 研修会, 聴講

- 7/3　平成18年度CSI委託事業報告交流会（コンテンツ系）
- 7/17　平成18年度CSI委託事業報告交流会（ネットワーク系・e-science系）：session6聴講
- 8/22-24 学術ポータル担当者研修聴講
- 8/27　学術基盤推進部専門研修「プレゼンテーション技法」
- 9/14　図書館とNIIの集い（NII Library Forum 2007）

3. 研修内容

3.3 出張

- 7/24　日立工場見学
- 9/3　東京工業大学（図書館システム：NTTデータ九州　NALIS）
- 〃　お茶の水女子大学（図書館システム：NTTデータ九州　NALIS）
- 9/7　東京学芸大学（図書館システム：リコー　LIMEDIO）
- 9/13　九州大学（図書館システム：日本電気　LICSU-Web）

3. 研修内容

3.4 実務

- 電子情報資源管理システム (ERMS) 実証実験
  - ・文献調査
  - ・実験環境の初期データの作成
- 図書館連携作業部会,次世代目録WG
  - ・会議事務 (議事要旨案の作成)
- 研修テーマに関する調査等

4．研修成果の概要

大学図書館システムの機能要件について

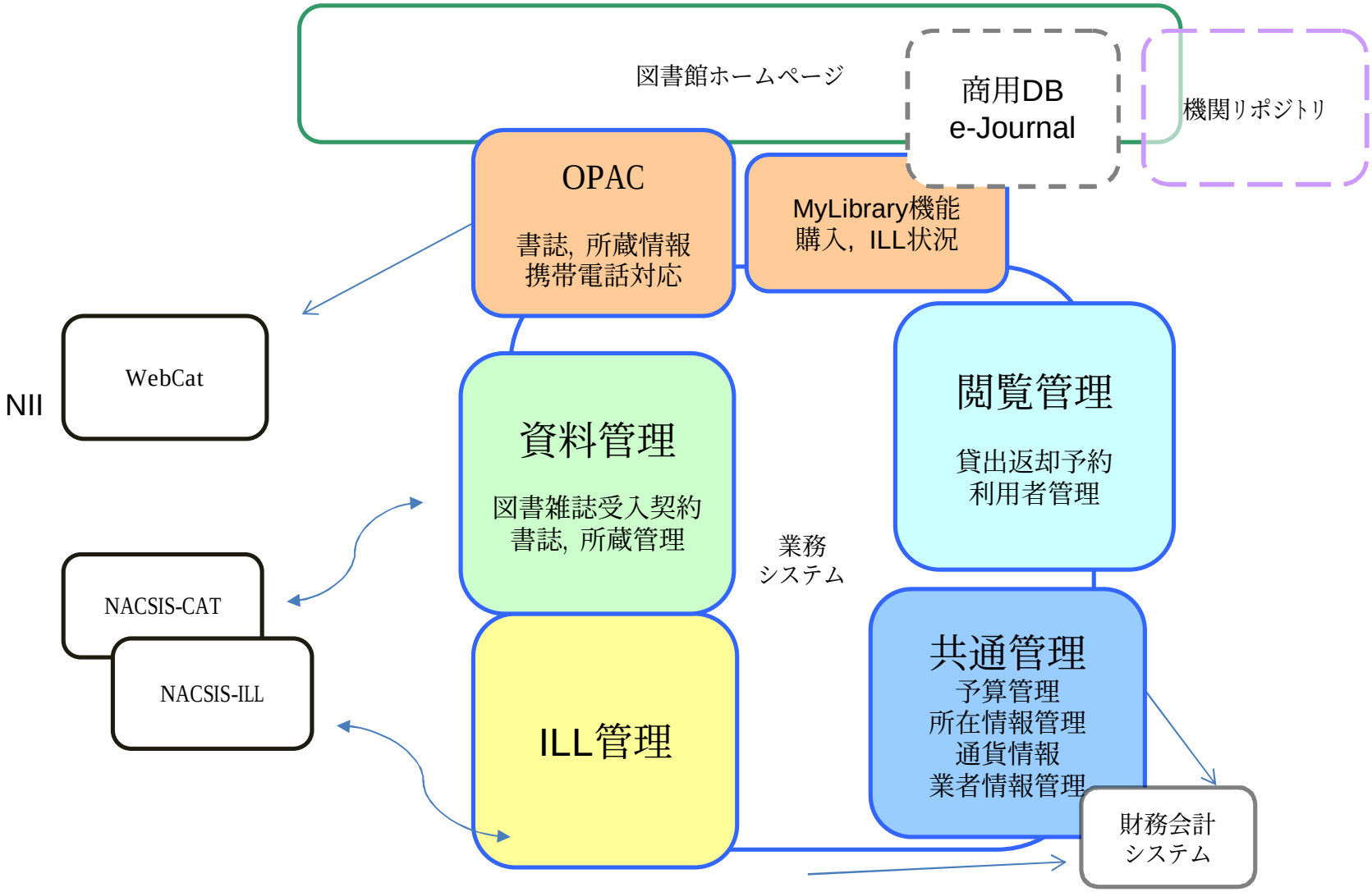
図書館は従来から利用者と情報資源を結びつける機能を果たしてきた。冊子体資料については，利用保存のバランスを保ちつつ，これまでどおり提供し，電子的資源に対しては，よりスムーズに利用できるよう，カスタマイズや外部ツールとの連携によって，対応している機関も多い。各組織，規模や方針も少しずつ違うものとなっているものの，「web2.0」や「ユーザ指向」といったことも意識しつつ，利用者サービスを中心に，電子情報環境下における大学図書館システムの機能要件を案として，まとめている。

1　情報サービス
- 1.1　所在検索サービス
- 1.2　閲覧サービス
- 1.3　貸借･複写サービス
- 1.4　レファレンスサービス
- 1.5　研究成果,貴重資料検索サービス
- 1.6　統合検索･オンライン窓口サービス
- 1.7　利用者環境支援サービス

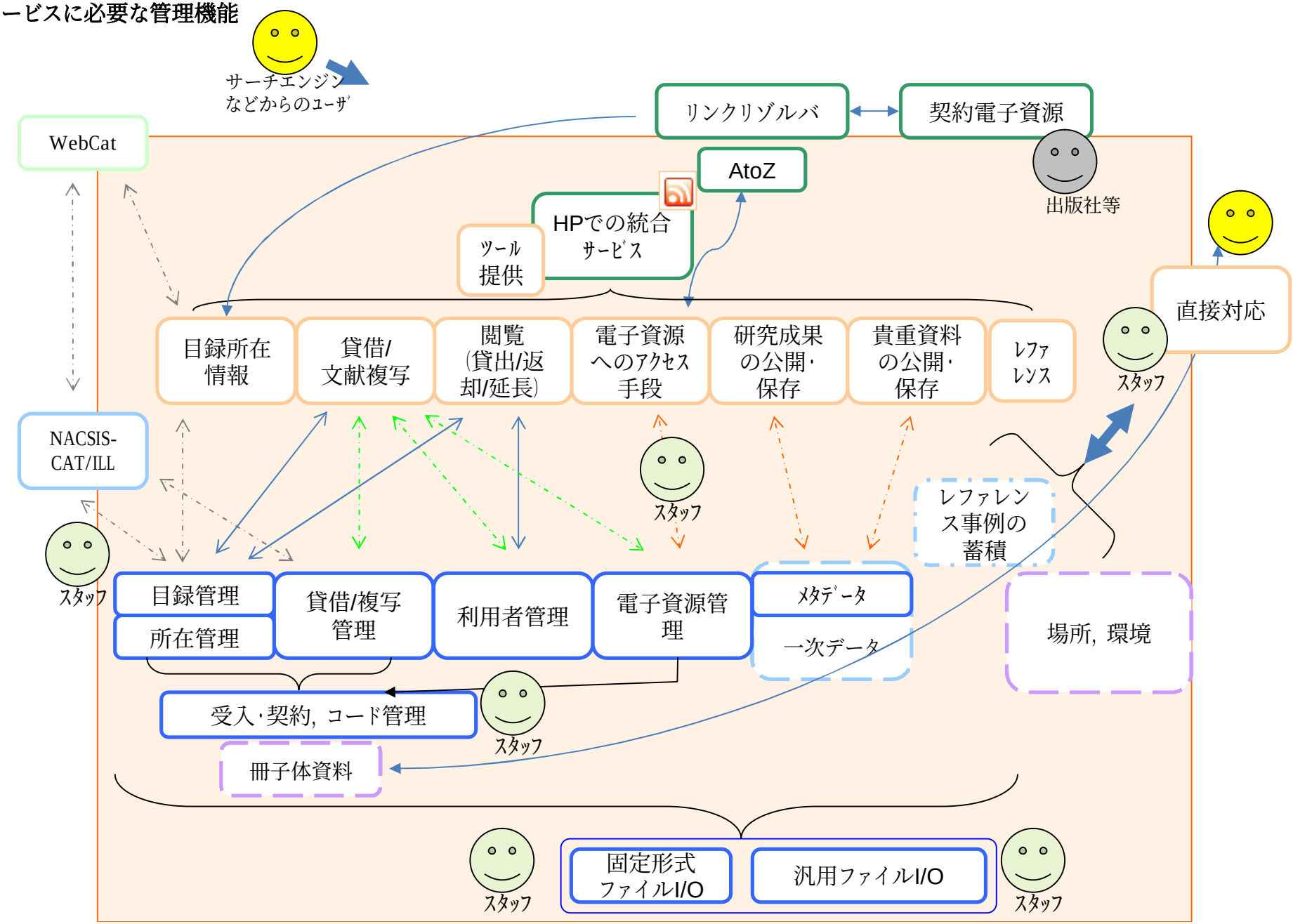
2　管理機能
- 2.1　目録所蔵情報管理
- 2.2　受入･契約情報管理
- 2.3　閲覧管理
- 2.4　貸借･複写情報管理
- 2.5　利用者情報管理
- 2.6　電子情報資源管理
- 2.7　共通コード管理

3　その他
- 3.1　蓄積･保存機能
- 3.2　運用管理
- 3.3　機器管理

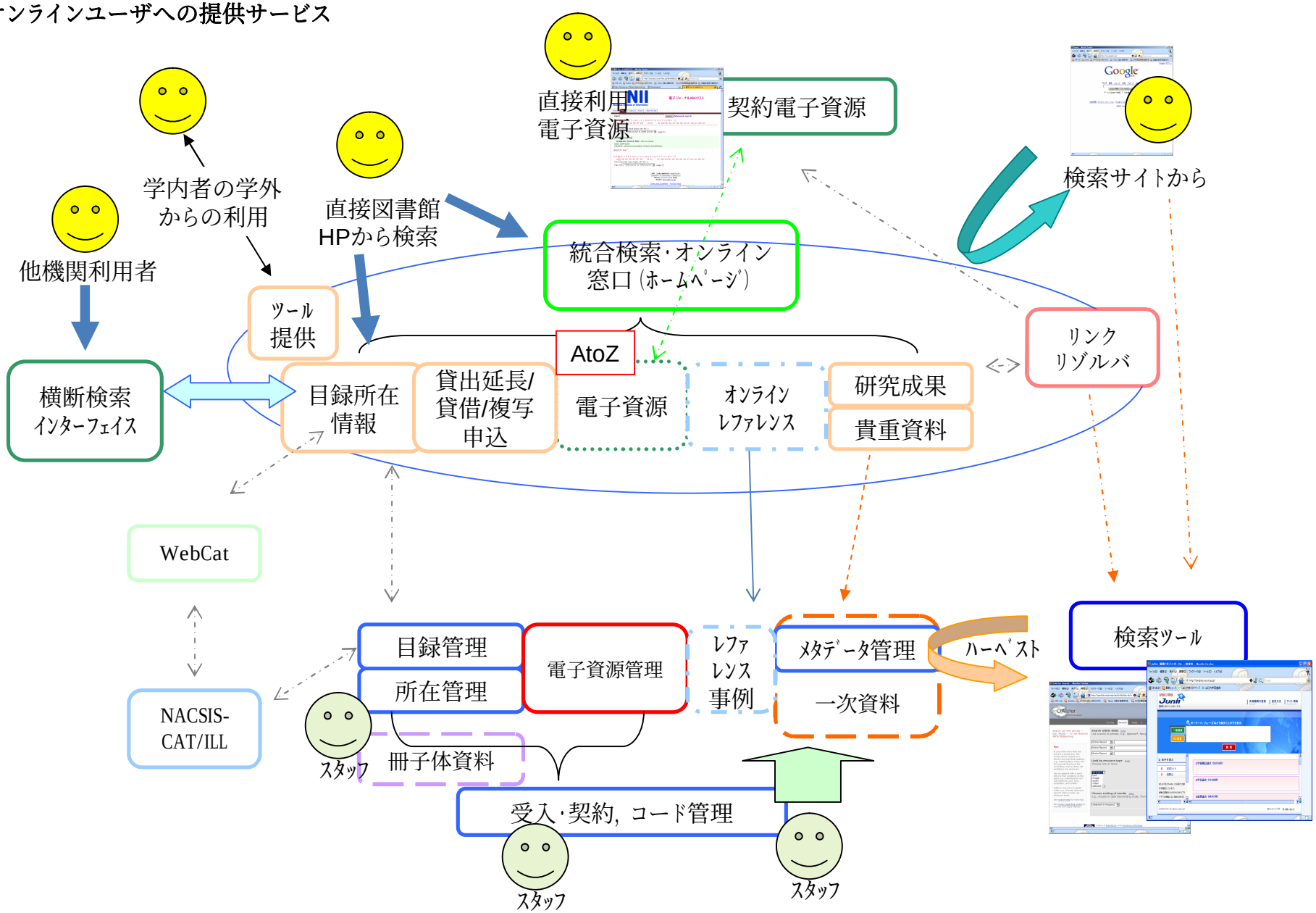
既存モデル


図書館ホームページ
商用DB
e-Journal
機関リポジトリ
OPAC
書誌，所蔵情報
携帯電話対応
MyLibrary機能
購入，ILL状況
NII
WebCat
資料管理
図書雑誌受入契約
書誌，所蔵管理
閲覧管理
貸出返却予約
利用者管理
業務
システム
NACSIS-CAT
NACSIS-ILL
ILL管理
共通管理
予算管理
所在情報管理
通貨情報
業者情報管理
財務会計
システム

サービスに必要な管理機能



オンラインユーザへの提供サービス



5．研修の感想

- システムの再認識
- 実務研修について
- 謝辞